

知識から知恵へ



福島県文化功労賞受賞者

佐 藤 浩

「暗記から理解へ」、「知識から知恵へ」、そして「身につく」その過程など、外部から自己の内部に取り入れられる時、まるで摂取した食物が消化されて血肉に変っていく時の状況によく似た道程を通ります。

まず、次の詩をごらんください。

葉と人間の空気交かん

三年 内山 智也子

理科の時間

先生に聞いた

葉は

二さんかたんそをすつて

きれいな空気を出す

人間は

きれいな空気をすつて

二さんかたんそを出すんだつて

人間と葉のつながりは

息なんだな

葉と人間は

空気でキッスしているのかな

この作品では「ガス交換」を「キッス」という既得の概念でみごとに理解をはたしています。又、次の詩をごらんください。

〔筆者紹介〕

佐藤 浩・さとう ひろし

大正 十年 郡山市生まれ

昭和 十四年 県立安積中学校卒業

二十五年 県立盲学校入学

三十三年 月刊児童誌「青い窓」創刊